



Asanoha[Hatsuko]

2019

秘
匿
刻
成人向

Fate/GrandOrder unofficial fanbook:
Caster Gilgamesh x Fujimaru Ritsuka

Episode 01





んあ

なんで俺こんな……
男なのに尻の中を
犯されてるんだ!?



んあ



んあ



やだっ
嫌だ!



離せよおっ

やめろ

キルガメツシユ!







俺のは鮭の
ホイル焼き!

なるほど香ばしい
サーモンですか……



カルデアの
食事は美味しい
ですからね



相席しても
構わないかな?

勿論です
是非どうぞ



私も呼ばぬか
たわけえ

あ〜



ね!

楽しそうに
語らうではないか

カルデアのご飯は
種類が沢山あるから
いつも何にするか
迷うんだよね



王の歓待を
忘れるなど
怠慢にも程が
あるぞ雑種?



斯様に貧相極まる
会食の場に王を
呼び立てるなど

臣下として弁え
たくなるのも
道理であるからな

まあ良からう



しかし
セイバー

お前は
咀嚼する姿すら
愛でるに値するな

真なる王の
御前だからと委縮
することはない

良いぞ
許す

どうした？
敏談を
続けろよ



いつなりとも
私の寝所に
侍るが良いぞ？

英雄王！

令呪使い
たくなひ……

アルトリアが
美人で好みなのは
知ってますけど
あまり刺激
しないで下さい！



ただでさえ今朝は
ギルガメッシュとの
えっちな夢を見た
気がして気まずいのに

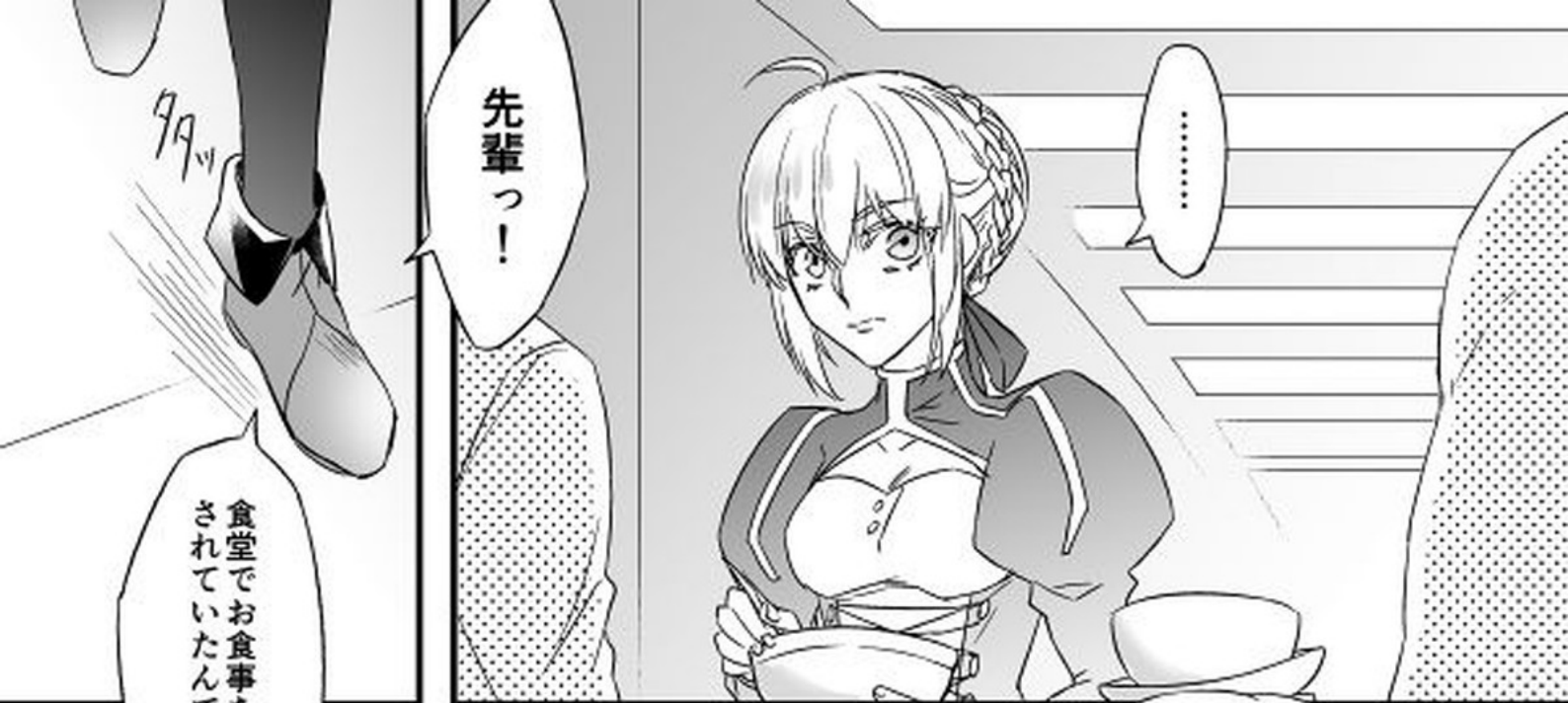
公然猥褻トークは
本当に勘弁して！



光るものはあるが
王の舌を満足させる
ものではないな……

次のレイシフトは
アルトリアにも
同行して欲しいし
そこで存分に
活躍してよ!

ま
ま
ま



.....

なるほど

唾液か

貴様が一瞬
滲ませたその情念

貴様が口を付けた
ものをマスターに
間接的に咀嚼させる
ことが目的だったな？

私の知る貴殿は
私に対して確かに
下劣な視線を寄越す
蛇のような気味の悪い
男ではあったが

.....

他の英霊を
出し抜いてまで
懸想するなど

狂気の如き執着を
持つような男では
なかった筈だ

貴殿は本物の
アーチャーか？

なるほど
お前の英霊の在り方は
他の凡英霊どもとは
少々違っていたな

もとより
直感を頼りに
動く女では
あったが.....

お前のそれは
記録ではなく
記憶という訳か

74

奢るなよ女

この至高の王は
天上天下において
ただ一人のみ

最古の英雄王との
拝顔が叶う僥倖に
欺瞞などあるものか

柔らかく清らかな
お前のその身を
貪り尽くし

煌めく瞳に甘露の雫を
溢れさせることは
覆らぬこの我の決定よ

……黙れ
外道が

おいおい

先に尋ねたのは
そちらだぞ
セイバー？

知りがった
答えを与えて
やっていると
言うのだ

喜べよ

……
だがまあ

そうさな

手に入らぬからこそ
美しいものがあるように

手中にあるからこそ
我が庭に転がる生を
愛でられるものもある



マスター

貴方の願いを叶えて
魔法道具を作りました



この瓶の中には
貴方が最も封じたい
感情が収集されて
具現化します



それって
つまり……

アーチャー
やはり貴方は

セイバー

我は我が宝の
墓奪者には
手厳しいぞ？

待て
アーチャー
それではっ！

己の愛らしさで
気を引く相手を
違わぬようにな

そのうちに

俺は同じような
夢を頻繁に見る
ようになった

……ッ
それでは
まるで牽制だ

善良な人間である
あのマスターを
貴方は一体
どうするつもり
だというのか……

夢の中の
俺は……

ギルガメッシュと
スケベしちゃうて
るんだよなあ……

また
見た！

……
セーフ

何がと言わ
ないケド出てない！

夢の中身
そのものは
全然思い出せ
ないんだけど
なんかやらしい夢
だったことだけは
憶えてるんだよな

他にも繰り返した
マッシュに関係した
夢も見てるし

ドクターに
聞いてみよ……

※スケベな夢であることは伏せて相談した

それは藤丸君が
マスターだからだね

マスター
だから？

そう

キミが見る夢は
いずれもキミに
関わりの深い
サーヴァントの
ものなんだろう？
マッシュはデミ
サーヴァントだけど

マスターと
サーヴァントは
魔力供給のために
バスで繋がっている

英霊の過去や記憶に
関わる夢を見ても
不思議ではないし

寧ろそういうのは
そう珍しいことでも
ないみたいだよ

無論

一般論として言えば



これは藤丸君が見る
マッシュに関する
夢だけに限らずだが

キミの深層心理も
少なからず影響して
いるんだらうけどね

マッシュのことが
心配かい？

当前です

……それでも
ボクたちは彼女に
頼らざるを得ない

純粹な戦力として
だけじゃなく

彼女の盾が
かの円卓に携わる
ものであるからこそ
この召喚システムは
成り立っているんだ

円卓に集うかの如く
英霊を招集する
アンカーとしてね

伝説の聖剣使いと
謳われる最強の
セイバー……

高名なアーサー王が
あまりにも早期から
召喚に依りてくれたのも
円卓の絆によるものだろう

まあそういう意味では
なんの繋がりもなかった
ギルガメッシュ王が
ほぼ同時期に召喚に
依りてくれたのは殆ど
奇跡のようなものだけど



どうして
なのかなあ……

そうだ

マッシュの
いのち
の寿命



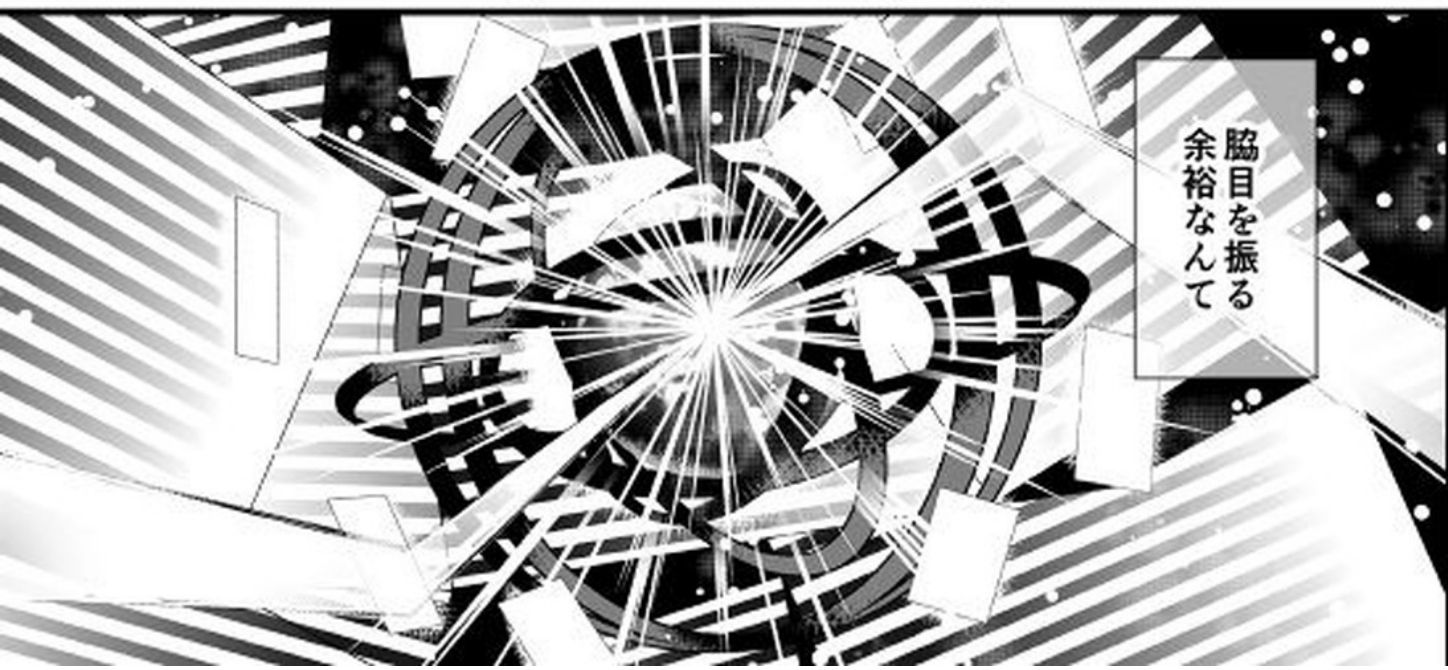
ギルガメッシュの
あれはただの俺の
妄想に違いなくて

俺が見る夢のうち
マッシュに関わるものは
実在した過去だと思っ

それなら見てる
ものの重さの違い
なんて初めから
決まりきってる



今の俺には余計な
ことを考えてる暇
なんて少しもない





何度も
言わせるな
新しげな報告は
新しいほどよい！

俺には少しだって
無いんだから



おはようございます

ご気分は
いかがですか？

レイシフト
無事完了です

そっか

……は……
カルデア？

はい

俺たちは
ウルクから
戻って……

どのような
経緯でウルクに
転移されたのか
全力で解析

現在

カルデアでは
第七特異点の聖杯を
シバで検証

!!!



消滅

緊急事態発生
エマーゼンシ

緊急事態発生
エマーゼンシ

存在証明に失敗しました

カルデア外周部
第七から第三までの
攻性理論……

外部からの
クラッキング……！

ドクター！



——マスター藤丸
マッシュ・キリエライト

これより一日の
休息を与える

精神 肉体の状態を
ベストコンディションに

キミたち二人が
この管制室に
戻ってきた時

カルデア最後の
作戦を開始する

向うべき特異点の
名はソロモン

終局特異点

冠位時間神殿
ソロモンだ——！



『恋愛感情』
というやつだ



事情は全く
訊ねていないし
知りたいとも
思わんが



俺の協力が
意外だったか？

ハッ
意外だろうな！

なにせ
協力した俺が
一番驚いている！

だが恋愛を悲劇で
終わらせぬ救いは
全く無かったのかと
聞かれて思想しない
作家がどこにいる！



何かと言えば
下らぬ感傷の
始末らしいが

普段から言う通り
恋だの愛だのとは
人の欠点にして
最大の特長スキルだ

既存のネタを
ある種の魔法に
転化したいなどと
新種の二次創作かと
この耳を疑ったが

出来栄次第では
失笑ものなところを
馬鹿真面目で根暗な
その女王は貴様の為
手の込んだ物を作った

ちよっと誰が
馬鹿で根暗よ！

ともかくだ
間抜け面の
マスターにも
元ネタくらいは
教えておけ

オリジナルの
タイトルは
貴様でも知って
いるだろうな



ついに最後の……



駄目だ

今は余計なことを
考える時じゃない

……でも
今を逃したら



全部終わった時にはもう
ギルガメッシュは座に
帰ってるかもしれない

あの王様が
気ままに動くのは
自然なことだから



ギルガメッシュ

入って良い？

俺が裁定対象のうちの一
人でしかないのなら

今でない

良からう

わが姿を拝謁する
荣誉を許す

失礼します

ふはは

呼び立てるより先に
傅きに来るとは

私の与えた
盛り立て役を
忘れたわけでは
なさそうだな

はいはい

ギル様褒めて
ください

キサマー

うーん
王様だ



……
なんだその
覇気のない顔は

我が国は
「楽しかった」
のであろうか？



痛快至極の大勝利

この英雄王と肩を
並べて戦った男にしては
辛気臭い面ではないか



……ずっと
気になってました



なんのことだ？



やっぱりそう
なんですか？



どうして
貴方みたいな
凄女王様が

なんだ

さして関係もない俺の
人理修復に初めから
協力してくれたのか

そのような
ことであれば

召還された折りに
言っただけだが？

さうさう、まあでも、
さうさうと、我が師
それなれが、突然で
真事せんとする輩が
いるともなれば、

さうさう、
此度の戦いも
難儀しくらいには
なるであらう



ええ

あれも貴方の本心
だとは思いますが

貴方は自らが
裁定する世界を
奪おうとする者を
許さない

たとえ神が
相手であった
としても……



俺もずっと
そう納得して
きました

けど

それだけじゃ
なかったんでしょ？

ほう

申してみよ

違うんだよ

それなのに
ギルガメッシュは
俺と出会った時から
宝具の投擲ですら
惜しまなかった

そんなことの
ためだけに

だって知ってたから

俺がどんな風に
ウルクで過ごして

貴方の隣で戦うことを
許されるようになるのか

俺みたいな平凡な
マスターの指示で

貴方が乖離^{エア}剣まで
抜いてくれる
筈がないんだ

……
フン

我は全てを
見通す英雄王

貴様の言うとおり
召還された時点から
貴様が我が国を訪れる
可能性は見えていた

が
それがどうした

それを確かめる
ためだけにここを
訪れたなどとは
言うまい？

……
座に登録された英霊は
過去と未来の時間軸に
捕らわれないって
聞いたことがあります

俺が貴方とここで
初めて出会った時

俺はまだ
ウルクの王である
ギルガメッシュを
知らなかった

けど

後になって
俺はウルクで……



無論

初めから我には
視えていたとも

オド
我自らが生身の魔力で
貴様の魔術回路と
我とを交わらせたのだ

それほどの絆あれば
貴様の存在そのものが
我を召喚する触媒と
なるのも道理であろうな

俺の知る王様は
条件さえ揃えばいつでも
全盛期の姿を取ることが
できるように見えました

多分それって
このカルデアでは
魔力の供給量でいつでも
可能なんでしょう？

下腹部突然
触らないで
ください

やっぱりだ

ずっと

疑問だった答え

どうして
なのかなあ……

どうしてこの人が
俺のために戦って
くれていたのか

なんの繋がりもなかった
ギルガメッシュ王が
ほぼ同時期に召喚に
応じてくれたのは
殆ど奇跡のようなものだけと

……最初から

傍にいてくれたのは
貴方だったんだ





阿呆め
死んでおるわ

あ!



生きてて……
良かった



そも

我が見るのは
数多の未来であって
現在とはそのうちの
一つでしかない

貴様が我が国を
訪れるまでもなく
命を落とす可能性も
また幾重にもあった

なればこそ
我はウルクのために
貴様に手を貸す
必要があると判断した



ガシ
ガシ

その一点のみを
理由にするには
些か大きなものを
賭していたよう
だが……

まあ良い

その度胸こそを
我は評価している



なにせ貴様ときたら
魔術師においては
全くの一見さんで
あったからな

しゅ
ぐ



それは
……その

唯一の生存者
だっただけの
一般枠ですし？



人魚姫

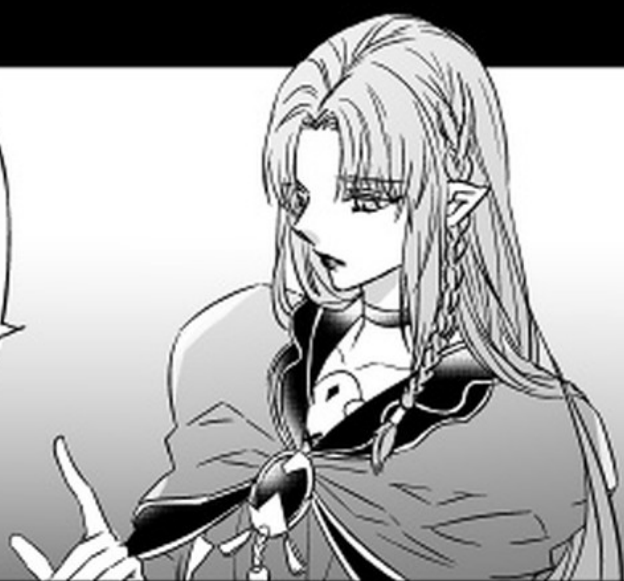


初めは小さな
稚魚の形を
取るでしょう

それが次第に
人型をとりはじめ
人魚になっていく

貴方の内にある感情の
緩和を願うのならば

それを掴み上げて
瓶の外に放置なさい



その人魚は
沫になる？

当然至極だ
論じるまでもない

薄い！

それがおそらくは
貴様が最も馴染む
俺が手がけた慈悲の
物語だろうからな



しかしこれは
一時的な
処置ですよ
マスター？



根源にある感情が
無くなるまでは
何度でもその内に
生じるでしょう



でも
それならなんで
初めからその姿で
来てくれなかつ
たんですか？

たわけ

この姿で現界すれば
察しの良い医師等は
我が国が特異点に
なりえると気付き

すぐさまウルクに
レイシフトを行い
貴様はその命を
散らせていたわ

ダ・ヴィンチは
察してたようだが……



して
貴様はこれから
最後の戦いに
赴くのであろう？

ひと時の休息を
言い渡されている
頃合いの筈だが

……そうですね

ウルクから戻った
ばかりなので
疲労困憊ですし



ふらあ

数多の苦難を
乗り越えた後の
貴様でなければ

元より我に拝謁する
権利すらなかった
——ということよ

なるほど

お邪魔
します

許可より先に王の
寝所に入り込んで
おるではないか！

ムム
もう

収まりが良い

※流石に
慣れた

まあなんと
いうか……

まったく
貴様という
やつは……

……
賢王になった
ギルガメツシエ

やっぱり少し
くたびれた感じに
なるんだな

なにか不敬なことを
考えているな貴様

イエ
ソナナコトハ

疲労困憊が全盛期
って面白い……

慣れないのは
ここにいるのが
あの王様なこと

気が抜けて眠く
なってきた

あまりに疲れていた
せいだろうけど

……もし
俺がここまでの間に
王様を落胆させてたら
どうなってたんだろ

普段なら口に
出さないような
考えが思わず漏れた

どこまでも
愚鈍な奴め

斯様なことは
問うまでも
なからう

それじゃまるで
今は求めてくれてる
みたいじゃないか

価値なき
貴様ならば
我は求めん

違うそれより
もっと聞きたいことが
別にあった筈なのに

その時は
せめてもの情けだ

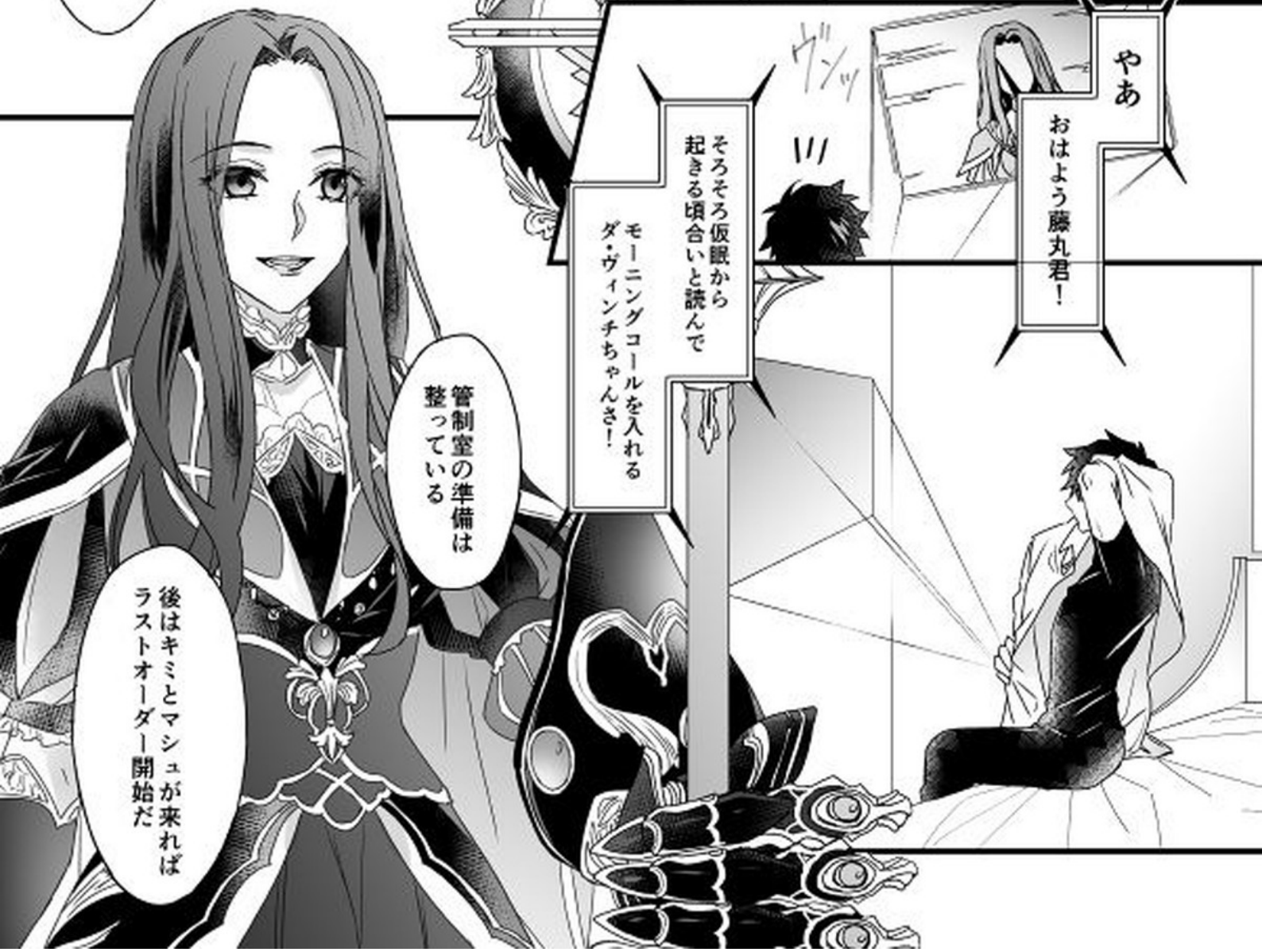
貴様を我自ら
葬ってやった
であろうよ

ぐぐぐ
眠い

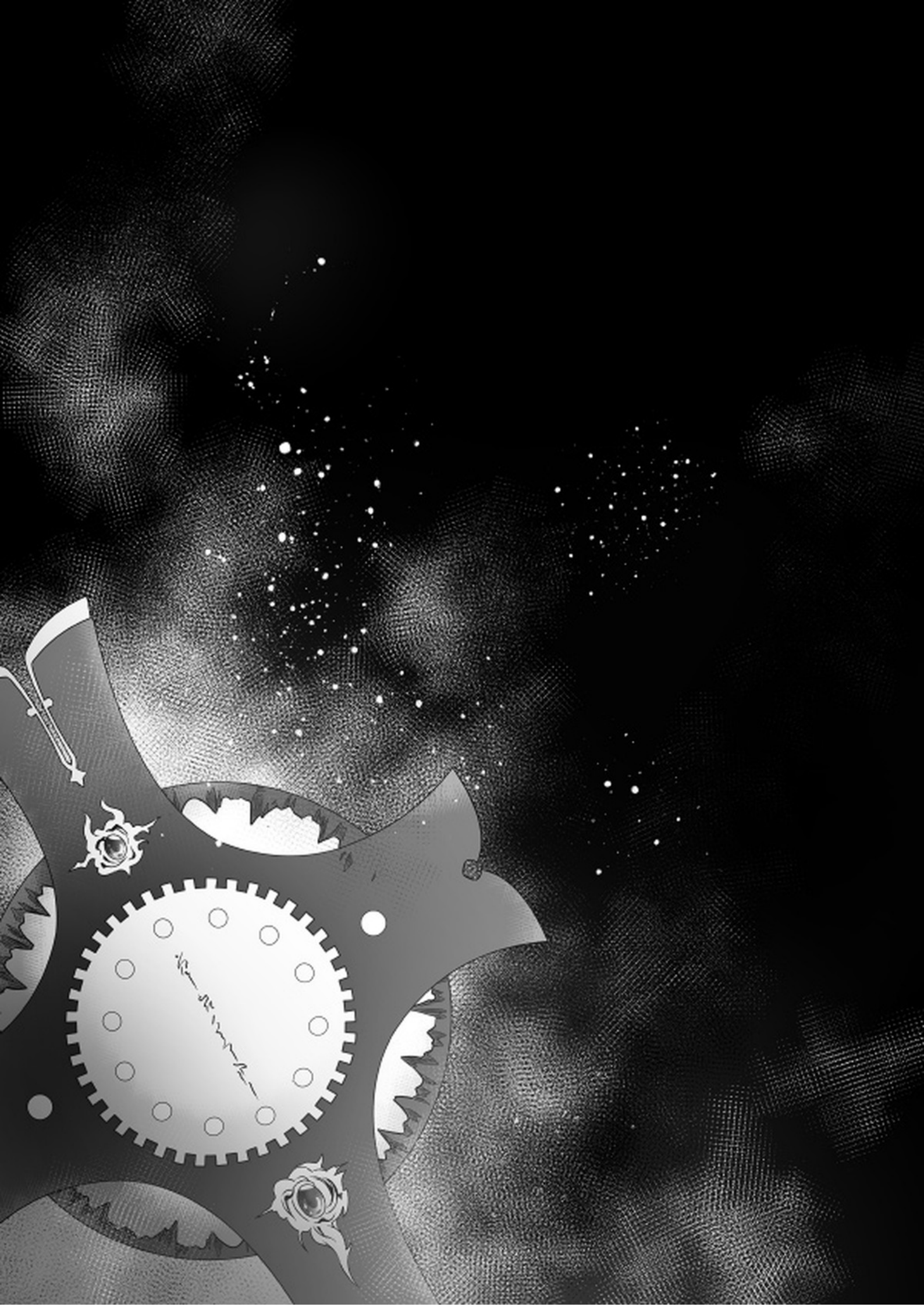
よく言うよ



あの時死んだのはごつちだろ

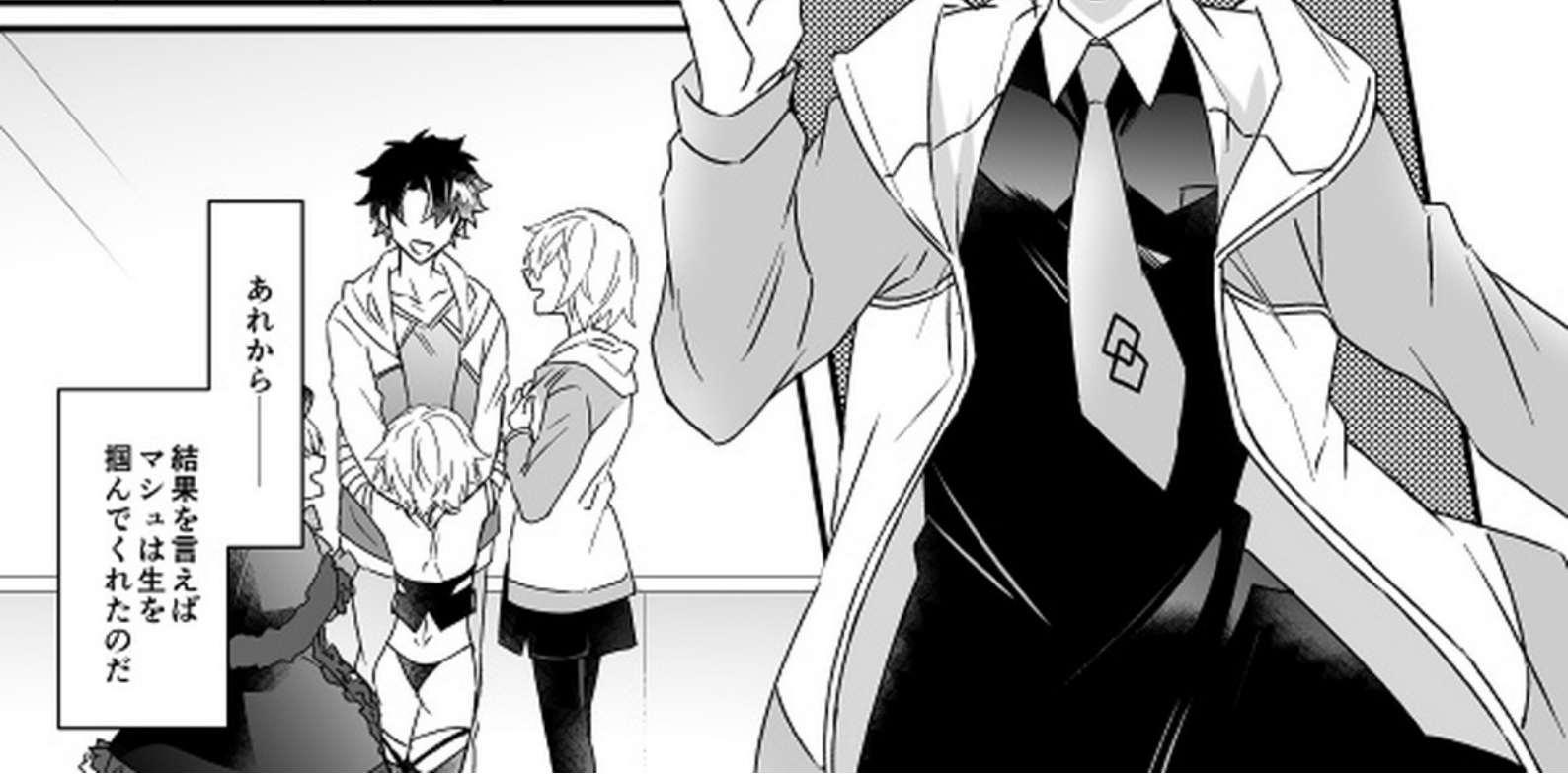
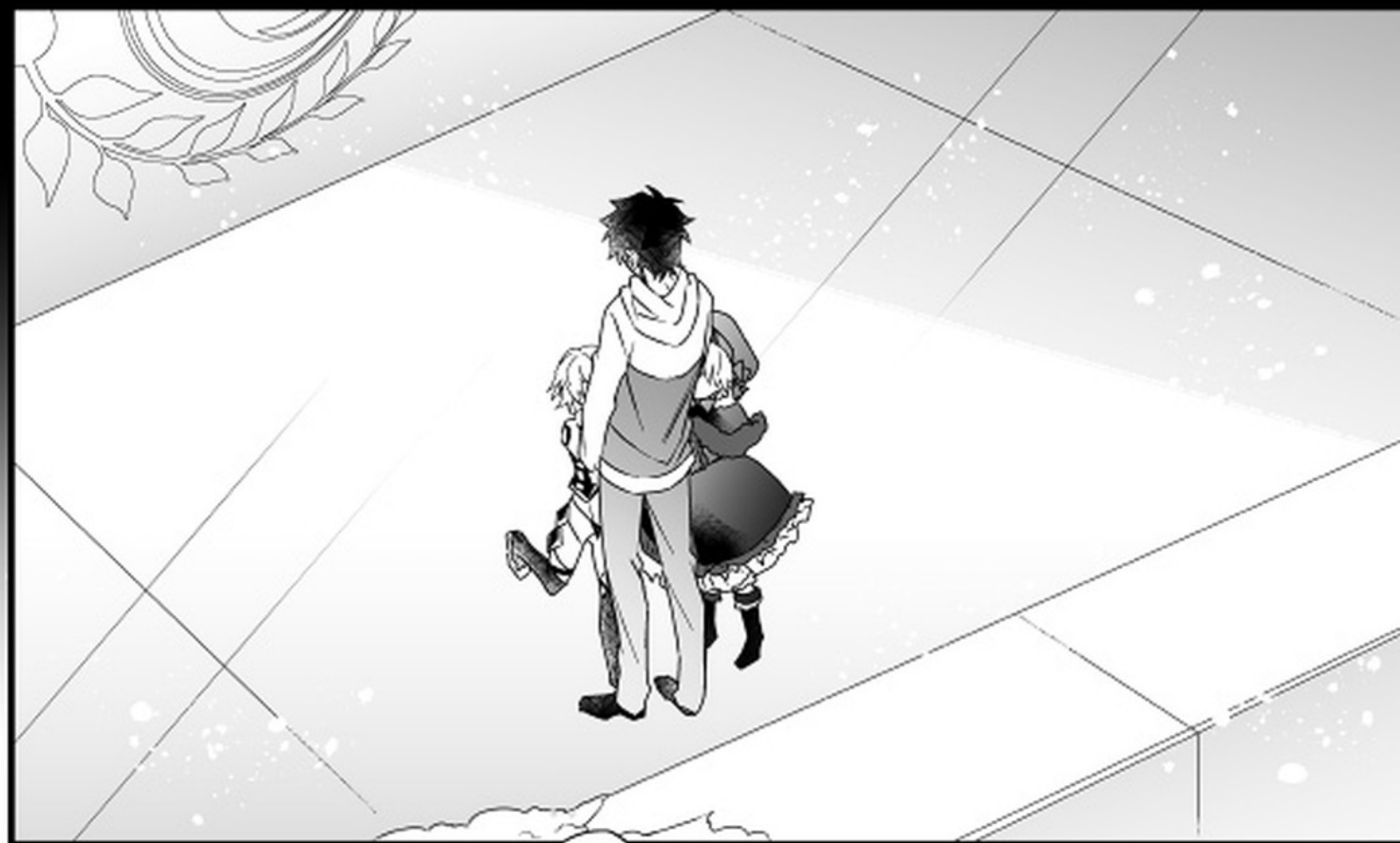








Episode 02



いっそ記憶ごと
消してしまえば
楽になるぞ？

フロイト
王子を変える
という手もある

元より頼末の本懐は
沫と化すことには
ないのだからな

うん
でも……

無かったことに
したいわけじゃ
ないから

ごめん

二人とも
俺の我が儘に
付き合ってくれて
ありがとう

彼と出会ったのは
冬木から戻ってすぐ

オルレアン
第一特異点に行く
直前のことだった

ふはははは！

この我を呼ぶとは
運を使い果たしたな

雑種！

その時の
俺の印象は



どんな奇跡が
起きたのかなんて
分からなかった

俺はただマシユが
ここにいることに
感謝するだけだ

ただ一人

所在ない同士

交友を深めよう
じゃないか!

帰らない人の影は
埋まらないけれど

今を生きる者は
諦めを覚えることなく
前を向いて生き続けろ
と言うのだろう

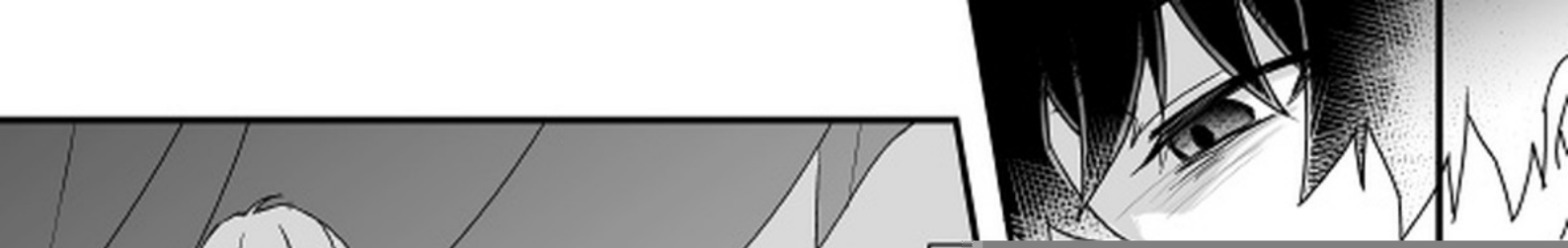
では
また後で

うん

また!

けれど

前を向くことに
だって恐怖はある



焼き付け
られた記憶と

続いている
曖昧な……

夢

今までは沢山の
不安や迷いや
決意が邪魔を
してきたのに

考える時間が出来た
ことで自問自答の
数が増えていく

今は本物の記憶と
夢の違いすら

殆どなくなってるん
じゃないかって

こんなことなら

最初から全部隠さず
ドクターに相談して
おけばよかった





医者がいなくな
ったからと
怪我を放っておくな

あっ

……はい



おい貴様

!

なんでこう王様って
距離が近い
ブレゼントとか
くれるのかな……



この人の魂は多分
どんな形になっても
揺らがない



この体温が
離れてくれないのも
あの夢を見てしまう
原因なんだろうか



斯様な場所で
媚びて見せるな

やめよ

そういう人だ



媚びて……？

俺は何を
やってるんだ

……………
ごめんなさい

よい

許す

どうして

この人の造作が
完璧だから？

王様がいなかったら
人理定礎復元の
前に俺は死んでた
かもしれないって

セックスした
記憶があるから？

王様が俺と
セックスしたのは
パスを繋ぐためだ

変な夢を見ちゃうほど
意識しちゃうから？

これは……

劣情なのか？

大体俺の夢は
王様に抱かれる
前から見てた

王様が俺の物だなんて
少しも思わないけど

命令による
命令権とか

パスの繋がりとか

自分だけが王様の
特別みたいで

手に届かないような人が
傍にいてくれることに
慣れてしまうのは

とても怖い

おしげ
怖気ついて
しまいそうだ

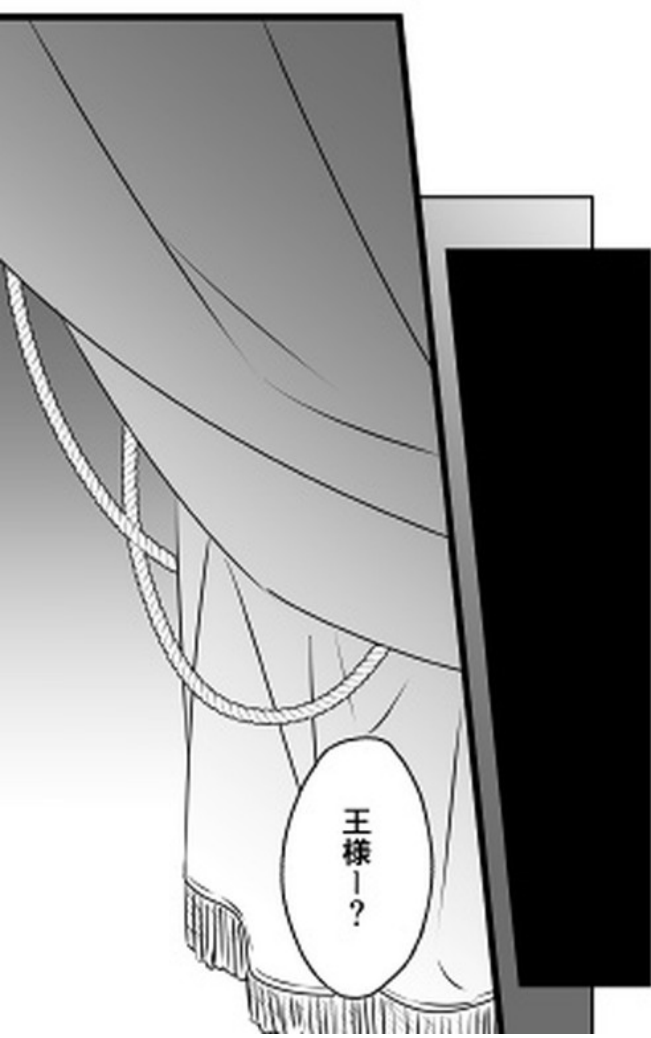
ここから
逃げることも
許されないのに……

※この後きちんとカルデアまで送ってもらいました。

逃げるのは
無理!!

うん

だってここ
レイシフト先の
船の上だしね!





引き続き
励めよ
雑種

はいはい
仰せのままに

遅いわ
たわけ

どれだけ
かかっている

すみません
ちゃんと紙の
書類も集めて
きましたから

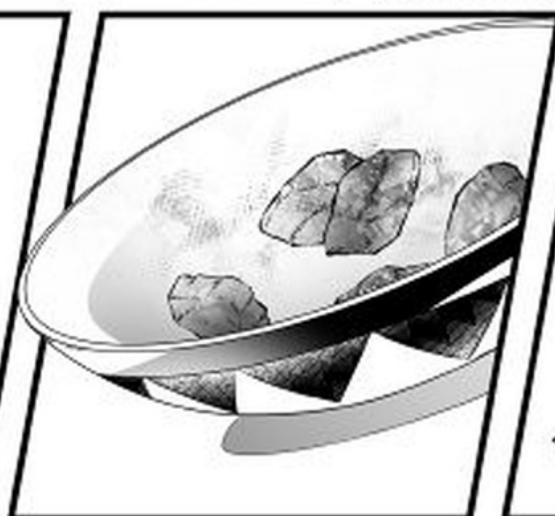


ご依頼の書類を
預かって来ましたよ



見覚えのない
宝石ですね

?



イシニタルも反応
してたし昔は流行りの
献上品だったのかな？

そう言えば少し前に
来てくれた英雄王も
ラピスラズリの腕輪を
くれたんだっけ？



フン

それは我への献上品だ



一級のラピスラズリ
だが……

やがてはそれも
下賜してくれる

カルデアの誰かに
あげるもの……？



例えば

今までの姿も
演技ではなく

ギルガメッシュが
アルトリアを求めて
いることに違いは
ないのかもしれない

そうでなくとも

キラキラした綺麗な
女神や英霊たちで
溢れたカルデアで

ここは——

この部屋は

派手!!

キラキラしてる!!



……フン

英雄王
ギルガメッシュ

あのう……

どちら様
なので?



ギルガメッシュ
だって!?

古代バビロニア
神代の大英雄
じゃないかっ!



神代の
大英雄?

そんな
サーヴァントが
どうして……?

?



少なくとも
俺の居場所
じゃない



俺は部屋に
戻りますね

それじゃ用も
終わったので

へん？



今はもう自室に
戻ることを止め
られもしない

か

おやすみなさい

王様



体をくつつけるだけで
多少は魔力供給に
なるらしいから

今まではアーチャーの
姿を保つために必要
だったとかなんだろうな

後はカルデアが正式に
解体されるのを
待つだけだなのに

或いは願望



地味に寂しいなんて
言えないよなあ……

俺の嫉妬

全部あの人には
いらぬ感傷だ

みじめな気が
するのは多分

俺があの人を
好きだから



アルトリアを見るように
見つめられたいなんて
不相应にも程があるだろ

夜分に
どちら様……

!

ならその感情ごと
封じ込めてしまえばいい

これが一番
初めの出来事

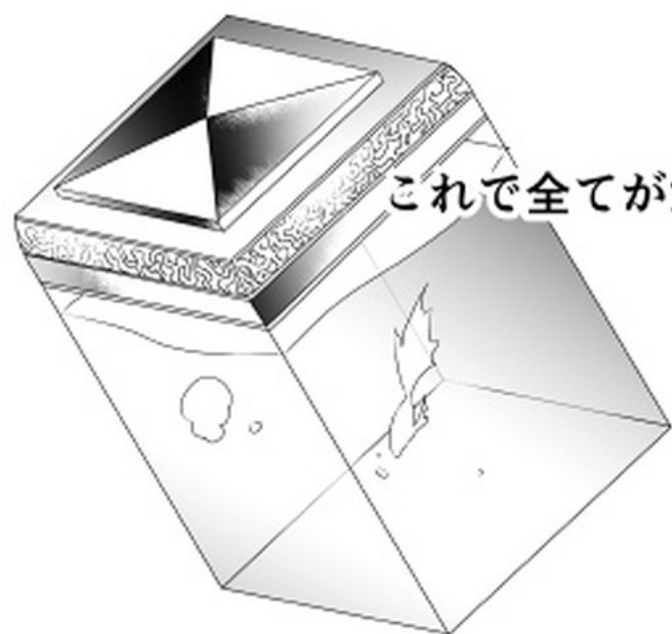
マスター？

突然ごめんね
メディア

ちょっと相談したい
ことがあるんだけど……

記憶は消さずに

手段
感情だけを殺す魔法



これで全てが大団円だと——

俺はそう、思っていたんだ。



王様の大切な
誰かのために

駄目だ

早くこの感情を
消さないと……

……っしゅ

……種

呆けておる
のか雑種！

ビクッ

はい！

聞いてます！！

やっべえ！！ん

先日の亜種特異点の
経緯でしたよね

ええっと……

………貴様は
何に惑っているのだ？

いえ……

ほうっと
してました

今もあの瓶の
中は成長して
いるんだろうか

明日辺りには
人魚もとい
俺の顔してる
人面魚になりそう



あっという間に
大きくなって……

うわー

こうやって見ると
やっぱり俺って
王様のこと
好きなんだなあ

好きだけど



殺すために
形にする感情

自分のことだからこそ
俺はこんなに酷いことが
平気で出来てしまう



どうして
こんなことになっ
ているのやら





ごめんな

……
何やら
面白いものを
置いているな



どんな物なのかは
バレてないよな？

俺はメディアアと
アンデルセンの謎技術を
信じてるぞ……！！

王様だって俺の
部屋にくることが
あるの忘れてた……

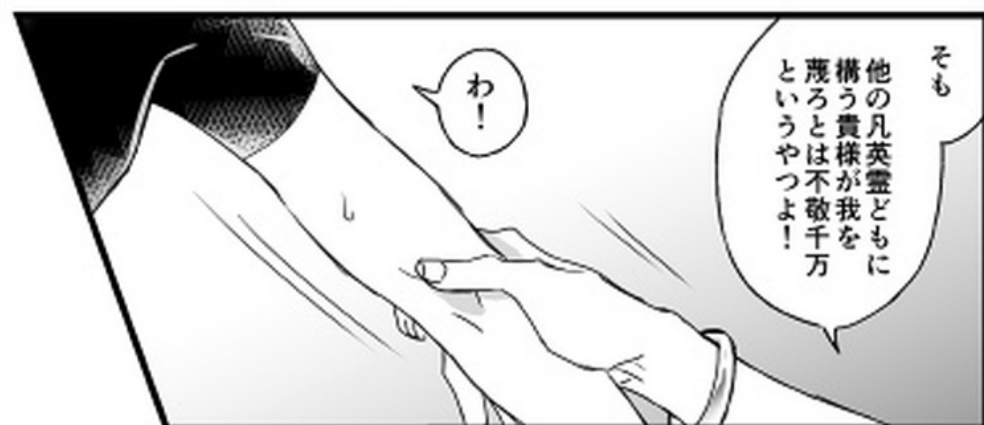


小間使いめが
悪巧みか？



はあ……

ま……





起こさないどころか
怒って帰りも
しなかったんだ？

俺まで
裸だし！



やらかした！

途中から
記憶がない



やっぱり
ウルクに比べたら
暇なのかな？

↑不敬

もぞ

今何時……

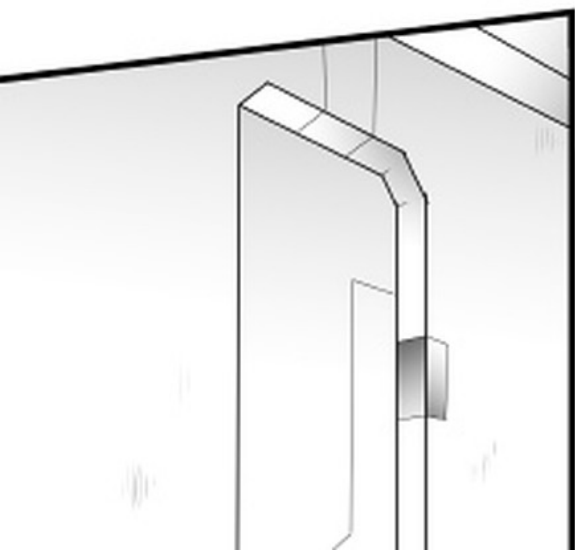
動くな

まだ朝は早い……



本当に暴君だ

俺の馬鹿……





完成……

してるッ。

多分

……だよな？



これをつまんで
外に出したら
沫になる……

だっけ？

感情が消えるのは
一時のことでは
ないらしいけど

繰り返せば少しは
薄れていく筈……

この世界は
その一片までもが
余すことなく私の庭

それを我が物顔で
篡奪せんとする輩が
いるともなれば……

そうさな
此度の戦いも
暇潰しくらいには
なるであろう

常 我を飽き
させぬよう励めよ

雑種

雑種？

はあ……

善処します

そっか

英霊全員が冬木の
キャスターみたいに
最初から協力的とは
限らないんだ

一瞬……

睨まれたの
かと思ったの

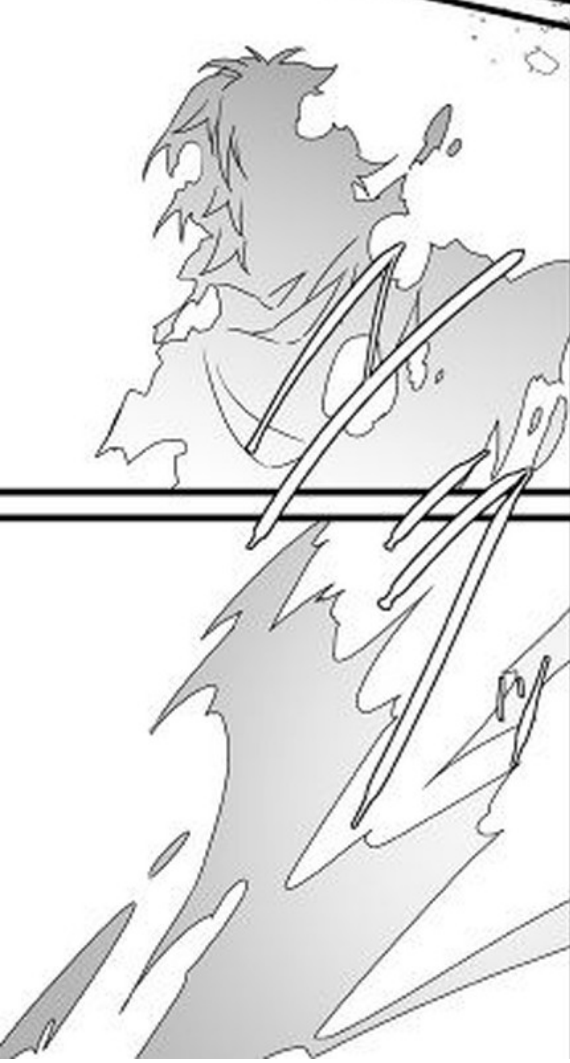
ギルガメッシュは唯我独尊
でありながら博愛な王で

生来酷薄な質であると
言ったのが誰だったかは
思い出せないけれど

少なくとも
俺やマッシュには
優しくなかった







たかが魔術師風情が

我の所有物に手を出すとは
見下げた愚か者よな

やれやれ

私でなければ
本当に死んで
いたところだぞう

ギルガメッシュ王

……王様？





相変わらずの純度よな









俺は知ってる

この匂い……

分からぬと
いった風だが
無理もなからう

これは



貴様の記憶を弄るときに
我が利用している宝具だ



まさか貴様が自発的に
殺そうとするものが
それと知った時には
それなりに驚かされたが



良い匂い
であろう？

なかなか
重用している



……まあ良からう

ことのほか
我は上機嫌だ



王様は俺に
特別興味なんて
ないでしょう

あまりからかわ
ないでください



繰り返し恋慕を
募らせるなど

愛いことをする
ものだな？



興味か……

興味などは
ないが

小間使いへの
愛着ならば
持っているとも

そうさな

貴様がそれ以上の
者であろうと
するならば

我は貴様を
所有し

専有し



掌握する

どのような輩にも
貴様を共有する
ことを許すまい

それが英霊で
あろうともな

小間使いって
言うわりに
距離感の近さがよく
分からないと思う


まあ気に入っては
くれているんだよな？

呼びつけて
寝る……


自分の部屋に戻って
良かった感じでした？

えー？

……なんだ？
まだ起きて
いたのか貴様



それで困るのは
今の貴様であろうが




……確かにそれは
……困ります




けど

そんなの……

貴方が俺のことを
好きみたいなの……



……たわけた奴めが
王に言葉を求めるな



不敬者





貴様のどこを
気に入ったかだと？

ハッ

そういうところ
であろうよ

太々しく豪胆

その癖凡人らしく
繊細で無力さに
しおらしくもある

ウルクでは我が国の
民と同じ時間を過ごし

喜びと悲しみを
共感した貴様だ



現代において
王たる私の価値を
貴様ほどに理解して
いる男もいまい？

.....
あの時代の
異物である貴様を
目で追ううちに

貴様に対する一つの
感情が芽生えていた



神はそれを
無用と切り捨て
愚昧と蔑むが

我は人の王として
それら全てを裁定する

博愛も友愛も
手にしていた我が
あの時まで唯一
持ちえなかったもの

座はその感情を得た
我を人として熟した
時と定めたらしい

我は今際の時に
透き通る青を求めた

我がウルクの民の
命を惜しみ駆けた
実直な男の瞳の色だ

これ以上の
睦言が必要か？

藤丸立夏

そうだ

俺はあの宝具で
何度も繰り返し
同じように……

ああ——



奥まで存分に
馴染んでおろう？

もっと深く

深淵に狂い乱れたかと
粉う程に喘いで見せよ

どうした

王に望まれるとは
こういうことだ



ギル……

ギルガメッシュ

思い出した……

この人は本当に俺を
所有していたんだ



貴様は我を
楽しませる術だけは
一級品よな

逃がすつもりは
毛頭ないが

今の貴様に
色恋を楽しむ余分
などなからう

なんて
優しくて酷い

すぐにまた
忘れさせてやる

俺の王様

……
今はこの享楽に
溺れるが良い

これは我が与える
最上の恩情と知れ

……？

……
なんで？

王の寝所で
分を弁えぬ
雑種よな

疾く失せよ

すみません

俺

部屋に戻りますね



先の茶番も
貴様渾身の
演技であろうが

あれへの哀れみ故か
余計なことをする

確かに覗き見は
私の趣味だが

突然攻撃するのは
どうかと思うよ

阿呆め

我のものを
掠め取る真似事
などするからよ

……質の悪さなら
キミも大概だろう

情愛を形にして
保管するだなんて

随分と良い
趣味じゃないか

何を視ていた
たわけが

あやつのは既に
我に献上されている

これは一時の
預かりものよ

……
これより暫く

あの男は
今までにない形で
生死を賭した戦いに
赴くことになる

大成しようとも巡る
星は変わらぬもの

あれが立つのは常に
生きるか死ぬかの
瀬戸際というやつだ

無論

あやつは卑しくも
生き永らえねばならん

流石は全てを視た
ギルガメッシュ王

——と言った
ところかな

キミには
この先が視えて
いるんだね

なれば
その旅路が終わる
まで凡英霊どもの
協力も必要であろう

この世界に
抑止力がある以上

我のみが在ろうとも
制御された身では
あの男の勝率は
限りなく低い

抑止力……

彼の道行きは
それほどまでに
過酷になるか……



ギルガメッシュ王とも
あろうものがやけに
大人しくしていると思えば

はっ

積もりに積もった
恋心とやらだ

あこ全
のれて

あなた

もはやこれは
感情という名の
呪いの類なの
かもしれないね

それも人間に平等な
裁定を下すこの王に
特別な感情を刻んだ
代償というのだろうか
優しいものだろうか

両想いならボクは最高の
ハッピーエンドを
待っただけなのだけど

世界が安寧に徹済み

あやつの思考の
全てが我にのみ傾倒
すべき時がくれば

我が
あれの全てを
貰い受ける



それが私の裁定だ